

資料2 障害のある候補者が選挙活動で感じた困難・解決策について

脳性麻痺

① 苦労したこと	訪問、電話かけ、遊説
② 改善方法	介助者2名体制、電話かけ応援、当事者応援演説

身体障害（脊髄性小児麻痺）

① 苦労したこと	車いすから選挙カーへの乗り降り
② 改善方法	特になし

脊髄損傷

① 苦労したこと	選挙カーから降りることに時間がかかるため、降りて住民と触れ合う機会があまり持てなかった。
② 改善方法	ドライバー等に車イスの出し入れを学んでもらった。マイクで「車イスのため降りることができない」旨を呼びかけた。

身体障害（四肢マヒ）

① 苦労したこと	日常的に使用している車いすごと乗れる福祉車両を選挙カーに改修すると改修期間使用できなくなる。代車に福祉車両はなく、選挙カーを別に1台用意せざるを得ないが、費用は1台分しか出ない。 移動や車の乗り降りに時間がかかり、有権者と出会う機会が少ない
② 改善方法	なし。特殊車両しか使えない障害に応じて、選挙カーと福祉車両2台分のガソリン代を認めていただきたい。 体力的に1日12時間活動は無理なので、選挙期間を延長してほしい

身体障害者

① 苦労したこと	挨拶回り、辻立ちに限界あり。
② 改善方法	体の回復以外なし。

肢体不自由

① 苦労したこと	選挙運動時の介助
② 改善方法	公的ヘルパーは頼めないなので、友人・知人にお願いした

脊髄損傷

① 苦労したこと	家々の訪問
② 改善方法	支援者に一緒について行ってもらう。また自らが訪問できない分はニュース、チラシを作って配る。

両下肢麻痺障害、軽い上肢麻痺

① 苦勞したこと	有権者への訪問の際、階段や段差があり玄関まで行けないこと。
② 改善方法	代理の方に玄関先まで行って貰う。

身体障害

① 苦勞したこと	障がい特性による体調管理・維持が厳しい
② 改善方法	こまめな休息と栄養補給

身体障害

① 苦勞したこと	一日数十回の選挙カーの乗り降り、大街頭演説での握手、悪天候の中の移動、車椅子対応宿泊施設の少なさ、8:00~20:00 17日間の選挙戦中の身体のケアとコンディショニング
② 改善方法	スタッフの支え、選挙カーの工夫、医療ケアとの連携

聴覚障害

① 苦勞したこと	コミュニケーション、情報保障
② 改善方法	手話通訳者派遣やきこえる方の支援

聴覚障害

① 苦勞したこと	運動員とは別の通訳者確保、市民への対応
② 改善方法	手話サークルへの呼びかけや支援者への協力依頼

※障害の種類については回答者の自由記載